

留学報告書

記入日:2016年 7 月 7日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ノースイースタン大学 現地言語: Northeastern University
留学期間	2015年8月～2016年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	D'Amore-McKim School of Business <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年5月3日
明治大学卒業予定年	2018年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～2月中旬 2学期:1月上旬～4月下旬
学生数	13204人
創立年	1898年

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	12,000	140万円	
食費	4,000	60万円	
図書費	200	2万5千円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	1,000	12万円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	0	0円	形態:
渡航旅費	1,200	15万円	
雑費	1,000	12万円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	19,400	241,500円	

渡航関連	
渡航経路: 成田→ボストン	
渡航費用	
チケットの種類	JAL
往路	10万円
復路	10万円
合計	20万円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
日本航空を利用	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)	
大学の international Village	
2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)	
3) 住居を探した方法:	
大学が指定	
4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
オンキャンパスの寮は部屋からボストンの中心地を見下ろすことができるためお勧めです。	
現地情報	
1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:	
2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
Residential Assistant や Academic Advisor に連絡	
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
夜間に一人で人気のなさそうな場所にはいかないことは心がけていましたが、午前 3,4 時に図書館から寮に帰ることもざらにあったため、特にあまり気にしていなかった。	
4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
大学内であれば、インターネットをどこでも利用できる。	
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
デビットカードを利用し、日本の口座から直接お金を引き落としていた。	
6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。	
ホカロンや暖房道具、ドライヤーなど	
卒業後の進路について	
1) 進路	

<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。(例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7)その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
16 単位	
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Elementary German 1	ドイツ語(中級)
科目設置学部・研究科	UG Col Socl Sci & Humanities
履修期間	2015 秋
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1 週間に 60 分が 3 回
担当教授	Diana I Erinna
授業内容	ドイツ語の教材を元に、リスニングやスピーキング
試験・課題など	毎週一回は試験があり、成績が累積されていく。
感想を自由記入	授業開始から、すべてドイツ語での授業で戸惑ったが、一つ一つ課題なり、テストの範囲に関してメールで確認していくことで乗り越えることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
First-Year Writing		英語(中級)	
科目設置学部・研究科	English Department		
履修期間	2015 年秋		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル		
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回		
担当教授	Dania Annese Dwyer		
授業内容	一ヶ月に1本のエッセイ(15枚程度)があり、量が非常に多い印象だった。		
試験・課題など	エッセイが25%を占めている		
感想を自由記入	アメリカで起こっている経済活動や問題に対してのエッセイであったため、そもそもそれが起きている原因から頭に入れていく必要があった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Principles of Organizational Communication		組織コミュニケーションの原理	
科目設置学部・研究科	UG Col of Arts, Media & Design		
履修期間	2015 年秋		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回		
担当教授	Jesica Speed Wiley		
授業内容	アメリカの企業の様々な組織体でのコミュニケーションを分析し、それぞれの組織体の特有の文化や思想を学ぶ		
試験・課題など	ペーパー4本、授業時間内の筆記試験など		
感想を自由記入	他の生徒がすべてネイティブの環境での学習であったため、授業中の会話が非常に聞き取り困難だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Global Social Enterprise		社会企業論	
科目設置学部・研究科	Business Admin		
履修期間	2015 年秋		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回		
担当教授	Dennis Shaunaghsey		
授業内容	アメリカの社会企業を取り上げて、それぞれのビジネスモデルから、収益の仕組み、社会的インパクトを分析していく。		
試験・課題など	ペーパーが4本、テストが4回、本が4冊と課題ばかりですが、もともとCFOだった教授が教えているので、説得力は高い。		
感想を自由記入	教授とはカフェなどに行く仲になって、今でも連絡をとるので、授業を履修して正解だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Experimental Entrepreneurship		起業論	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	2016 春		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回		
担当教授	A.Lottery		
授業内容	大企業への企画提案を半年かけて行うということで、グループワークが中心であった。		
試験・課題など	レポートや授業内でのテストが 3 回		
感想を自由記入	周りの学生がほとんどアメリカ人であったため、ついていくのが難しかったが、時間が経つにつれて馴染んできた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Entrepreneurial Marketing / Selling		マーケティング論	
科目設置学部・研究科	Commerce		
履修期間	2016 年春		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回		
担当教授	Chery Mitteness		
授業内容	事業立ち上げの際に必要なマーケティング理論を学ぶ		
試験・課題など	商品アイデアをグループメンバーと出し合い、設計図を作成したのち、実際にサービスと売り出すためのプロトタイプ作りをした。		
感想を自由記入	授業のほとんどがグループワークであり、休むメンバーも多かったためメンバー同士でキャッチアップする内容が多く、苦労した		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Business and Global Social Responsibilities		国際ビジネスと社会的責任	
科目設置学部・研究科	International Business		
履修期間	2016 年春		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回		
担当教授	Luis Dau		
授業内容	ケーススタディーをベースに、世界中で起こっている経済問題や企業体制問題を解明していく		
試験・課題など	筆記試験4回、グループプロジェクト関連のプレゼン、レポート		
感想を自由記入	毎回の授業にテーマがあり、様々な案件を取り上げていて、その背景や歴史を知るために必要な情報が多かったが、その分多くのことをインプットできた。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	Agos Japan に自己資本の全額をつぎ込み TOEFL 対策をスタート
4月～7月	明治大学入学 ノースイースタン大学に留学していた先輩方と接触
8月～9月	TOEFL の Speaking24 の壁を達成できず、挫折 IELTS 対策をスタート
10月～12月	IELTS 受験、出願要項を満たす 交換留学出願及び選考
2015年 1月～3月	ノースイースタン大学訪問 選考合格 ノースイースタン大学と連絡を取り始める
4月～7月	ビザなどの留学に必要な書類申請
8月～9月	留学先出発
10月～12月	1 学期
2016年 1月～3月	ヨーロッパ旅行
4月～7月	2 学期 帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	<p>僭越ながら記述させていただきます。そもそもの自分に対する問いとして、「誰と、何を、なぜ、どこで、どう学びたいか。」がありました。</p> <p>誰と＝世界中から集まる自分よりはるかに優秀とされる同世代、教授陣と何を＝興味分野の国際経営学、社会企業論、経営理論をなぜ＝失敗、挫折、問題、困難すべてを個で乗り越える必要があるからどこで＝0ベースの全く新しい環境、且つ圧倒的劣勢の環境でどう＝寮生活という、学問と生活が一体化した環境の中で</p> <p>学びたい。ということから始まりました。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>特に準備段階では死に物狂いで準備していたので後悔はしていません。</p> <p>語学力を日本であげるというのも”重要だ”と思いますが、そこまで特別重要ではないと思います。留学に行くまでの人生の中でどれだけ”厳しい環境”を自ら作り上げることができたか、どれほどの挫折や困難を乗り越えてきたか、それは個人の力、あるいは他の人と協力して乗り越えたか、他の人と協力して乗り越えたのであれば、その中で自分の役割は何であったか、など。あえて言うとなれば、嘘偽りなく、もつと厳しい環境で生活するべきであったと思っています。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>大学内で指定されているテストスコアの基準(特に Speaking)が1番高かったこと。</p> <p>ボストン界隈の友人が多数いたこと。</p> <p>大学の教授を元々知っていたこと。</p> <p>大学の学生が日本に来た際に一人一人の魅力に惹かれたこと</p> <p>明治大学の東京での立ち位置とノースイースタン大学のボストンの立ち位置が似ていたこと</p>
大学・学生の雰囲気	<p>大学・学生共に一概には言えませんが、トップレベルだという印象があります。やはり、周りの大学(ハーバード、MIT)に負けたくないという気で日々勉強しているような感じですね。大学自体がボストンの中心地にあることで著名人がキャンパスに足を運ぶということもありました。</p>
寮の雰囲気	<p>寮の食堂でほとんど毎日色々な友人に会い、日によって一緒に食事をする人が違うということを経験していました。非常にフレンドリーな環境が寮の中に備わっています。月に数回、学生が料理を出してくれて無料で様々な国特有の料理を味わうことができます。</p>
交友関係	<p>元々友人が多くいたことから、その友人と共に色々な人をこちらから声をかけて食事に行ったり、パーティーに行ったりしていました。元々、積極的な方なので、交友関係で問題になることはほとんどありませんでしたが、アメリカ人やフランス人と喧嘩をした経験などがあります。今では非常に良い人間関係が築けています。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>物価が高く、日本で計画していたよりも費用がかかりました。特に、体調を崩したと感じた時はできるだけ、崩していないと自分に言い聞かせることでいつの間にか治っている状態になっている時があります。また、できるだけ空港で荷物を預けないことをお勧めします。行きの飛行機で大きなスーツケースを航空会社が輸送できなくて二週間以上も待たされた挙句に、空港に荷物を取りに行くという経験をしまいました。衣類などが入っていたことから開始早々厳しい環境でした。</p>
学習内容・勉強について	<p>私は特に、社会企業倫理や CSR などの学習をしていました。授業は学生同士のディスカッションや、ピッチをすることが多く、授業中に椅子に座っていることが半分、その他に人前で話したり意見交換するのが半分という形でした。教授とはすぐ仲良くなれ(半強制的に)、他の学生とも積極的に(強制的に)意見交換をし、授業が終わったらすぐに親しい友人のノートを借りていました。</p>

課題・試験について	特に不定期に実施される授業中での試験、ピッチには頭を悩まされました。レポートや中間、期末試験に関しては準備をする期間や範囲が明確に伝えられているので、対応できるのですが、タイミングも範囲もない際に質の高いアウトプットが求められることが難所でした。
大学外の活動について	前期はボストンキャリアフォーラムの前日に行われる日本人を対象にしたキャリアフォーラムを近くの大学の友人たちと開催しました。後期に関しては、特に他の団体に所属することなく、大学内で活動していました。冬休みに以前ともに活動していた友人に会いにヨーロッパへ行ったり、春休みに西海岸へ友人に会いに行ったりしました。
留学を志す人へ	重要なのは、留学は特別ではないことを肝に銘じることです。また、留学中に何か大きな活動をすることもあまり重要ではありません。「留学中には」など留学終了後に言うことのないような生活を目指していただきたいです。私の場合は、留学に行く前から継続してやってきたことはあまりなかったのですが、留学が終了する前に開始し、今も継続的に行っていることがあります。これは何十年も継続しようという信念で行っていることなので、それが留学中にわかり、わかった後にすぐに行動に移せ、継続的に休むことなくできることを見つけられたら本当に留学に行つてよかったと言えるのではないのでしょうか？

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	食事	食事	食事	食事	食事	食事	食事
	授業	授業	授業	授業	授業	自習	自習
午後	予習	授業	予習	授業	予習	自習	自習
	授業	予習	授業	予習	授業	自習	自習
夕刻	食事	食事	食事	食事	食事	食事	食事
夜	自習	自習	自習	自習	自習	自習	自習